

2026 年 9 月 3 日
UDS HOTELS

手放された一着が、渋谷のまちを彩る。
ホテルとまちでつくるアート展「RE:SHAPE」を11月1日(日)より開催

渋谷のまちで回収した服からつくる、水墨画、刺繍、版画など、多様な表現のアーティスト全6名による、まちのためのアート展示。ホテルから始まる新たなまちの循環をつくります。



「まちとつながるちょうどいい時間」を提供するUDS HOTELSは、ホテルを起点に地域との新たなつながりと循環を生み出す取り組み「RE:SHAPE」を始動します。

第一弾では、東京・渋谷のホテル all day place shibuyaを中心に、ショップやコミュニティスペースなど渋谷のまちで手放された服を、これまでの服の記憶を受け継ぐ和紙へと再生し、アート作品へと生まれ変わらせる取り組みを展開します。国内外で活躍する6名の個性豊かなアーティストたちから生まれる20点以上の作品は、「RE:SHAPE EXHIBITION 2026」として、渋谷区神宮前二丁目の屋外アートギャラリーJinny Street Galleryにて2026年11月1日(日)から30日(月)の1ヶ月間展示されます。

展示作品は販売も実施し、その売上金の一部が渋谷のまちへ還元される予定です。これによりまちの資源が新たなカタチとなり、まちへ還元される循環をつくり上げます。

また、9月12日(土)・13日(日)には、all day place shibuyaにて、手放された服とホテル内で活用できる素材を使った、アップサイクルスタンプでつくるオリジナルTシャツのワークショップを開催します。

■「RE:SHAPE EXHIBITION 2026」概要

会期 | 2026年11月1日(日)～11月30日(月)

(野外ギャラリーのため、いつでもご覧いただけます。)

会場 | Jinny Street Gallery(東京都渋谷区神宮前2-31-5 / 神宮前二丁目商和会)

料金 | 無料(どなたでもご覧いただけます。)

主催 | UDS HOTELS・all day place shibuya(運営会社:UDS株式会社)

公式HP | <http://reshape-local.com>

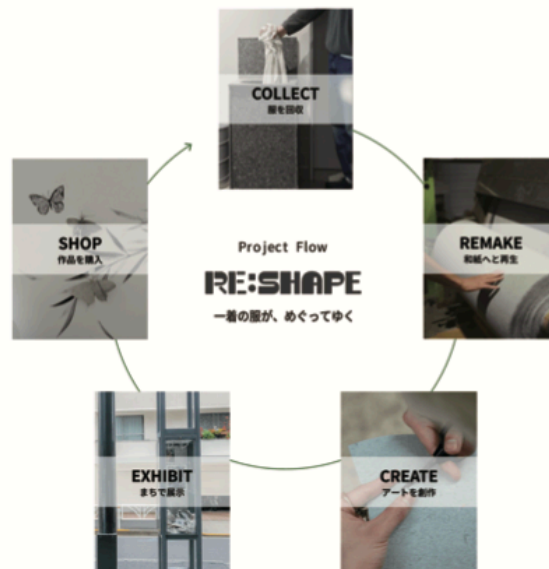
公式Instagram | https://instagram.com/re.shape_official/

イベント名 | RE:SHAPE EXHIBITION 2026 手放された一着が、まちを彩るアートに変わる。

■プロジェクトの発足と背景ストーリー

流行が生まれ、更新され続ける渋谷ではファッションは自分らしさやカルチャーを表現する大切な存在です。そんな渋谷に2022年に開業したUDS HOTELSのall day place shibuyaでは、ゲストがチェックアウト時にホテルに置いていく服の回収を行っており、約4年間で約400kgの服を回収してきました。服の廃棄問題が世界的な課題となる中、私たちは「ただ捨てるのではなく、新しい価値へ生まれ変わらせることができないか」と考えました。「RE:SHAPE EXHIBITION 2026」では、all day place shibuyaを起点に、役目を終えた服を回収し、服の記憶を宿したまま和紙へと再生します。そして、遊び心を加えることでアート作品へと生まれ変わらせ、ホテルという枠を越え、これまでの取り組みをさらにまちへと広げ、まちの循環へと繋げる取り組みに発展させます。

(※服の回収はすでに終了しています。)



RE:SHAPEがつくるまちの循環

■ 服の記憶を和紙へ

手放された服の和紙への再生は、和紙の名産地・高知県にある株式会社モリシカの協力のもと行われます。伝統的な手漉き和紙の技法と現代の技術を重ね合わせ、RE:SHAPEだけの衣類和紙ができあがります。かすかに残る服の色合いや繊維の気配、服が紡いできた時間をそっと受け継ぐように、一枚ごとに異なる表情と、その手触りが特徴的です。

■衣類和紙で渋谷を彩る6名のアーティストたち

「RE:SHAPE EXHIBITION 2026」は、服から和紙、そしてアートという、ものが移り変わっていくこと、そして、プロジェクト名でもある「SHAPE(カタチ)」をテーマとし、ものの価値やその潜在的な可能性を考え直すきっかけを提供する展示です。多様な分野で躍動する6名のアーティストたちが集い、独自の視点で向き合い、作品をつくりあげます。

参加アーティスト（あいうえお順）



磯村 暖

美術家

絵画や彫刻、サウンドなど多様なメディアを横断し、異なる時間や生命活動を交差させる作品を展開。反復や停滞などのクイア・タイム感覚を通じ、人間中心的な時間観や身体機能の変容を表現する。



大河 紀

アーティスト

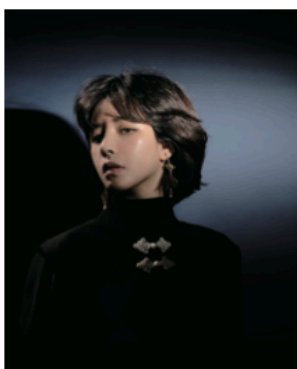
生死の不可避さや社会的枠組みといった既存構造の再考をテーマに、日本の伝統形式と現代的視点を交差させた絵画を制作。Miu Miu等のブランド協業など領域横断的に展開。



Kenta Kobayashi

写真家・現代アーティスト

撮影写真を絵画風に変形させた代表作「#smudge」を中心に、立体、3DCG、ファッション等へメディアを拡張する写真家・現代アーティスト。著名ブランドとの協業など多岐にわたり活躍中。



静電場朔(Dian)

Visual Artist、Musician、Designer

多文化な生い立ちを背景に、内心を「内宇宙」とし非生命体を擬人化して人間関係を描く。修士修了後に東京で画廊等を設立。パックマン40周年曲やアニメ主題歌を担うなど、音楽活動でも異彩を放つ。



CHiNPAN
現代水墨画家

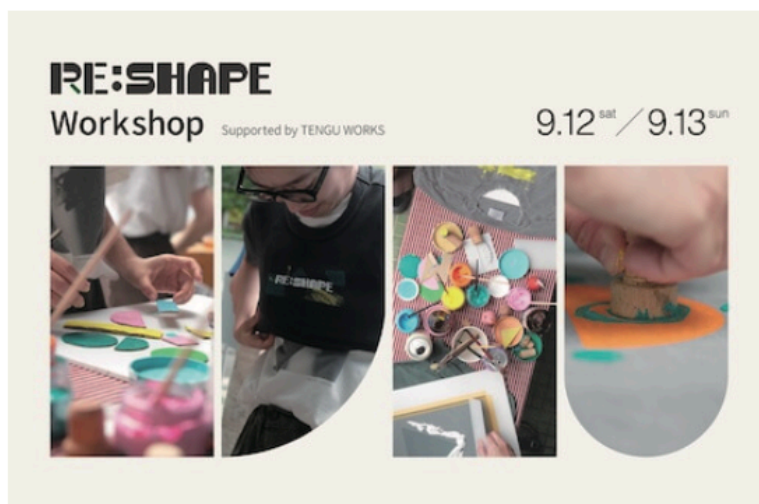
幼少期から水墨画に親しみ、琳派を学んだのち2008年から作家活動を開始。独自調合の墨による予測不可能な滲みを生かし、変化する動植物を描く。平面から立体、壁画、インスタレーションまで多様に展開している。



㊦
刺繍作家

古物買い付けを機に制作を開始。渋谷PARCOでの初発表後、全編刺繍の絵本発表やCIBONEの包装デザイン、映画コラボ、アムステルダムでの企画展など国内外で幅広く活動中。

■ 回収した服が新たな一着に生まれ変わる アップサイクルスタンプのTシャツづくりのワークショップ



RE:SHAPEでは、展示に向けたアート制作のための服を回収しました。しかし、アート作品にはならない服も数多く存在します。

そんな衣類のもう一つの循環のカたちとして、TENGU WORKS 若狭 悠輝氏を講師に迎え、回収した服を新たな一着へと生まれ変わらせるオリジナルTシャツづくりのワークショップを開催。まちで回収した服の中から自分の好きな一着を選び、参加者のそれぞれの個性をRE:SHAPEのロゴをベースとしたスタンプで彩り、世界に一枚だけの一枚をつくります。また、ワークショップ内で使用するスタンプは、RE:SHAPEの循環をテーマに、ホテル内の素材をアップサイクルして作成しています。

手ぶらで参加でき、ホテルの宿泊者に限らず、子供から大人までどなたでもお楽しみいただけるワークショップです。

■RE:SHAPE workshop 概要

会期 | 2026年9月12日(土), 13日(日)

時間 | 11:00~17:00(各回所要時間30分・定員2名 / 最終受付 16:30)

会場 | all day place shibuya 1F 階段下POPUPスペース

料金 | 2,000円/人

料金にはワークショップで使用する服も含まれます。

服のお持ち込みも可能です。

主催 | UDS HOTELS・all day place shibuya(運営会社:UDS株式会社)

協力 | TENGU WORKS/若狭 悠輝氏(@tenguworks)

予約 | 公式Instagramをご確認ください。(@re.shape_official)

【all day place shibuyaについて】

all day place shibuyaは、誰でも気軽に立ち寄れる「まちの合間に、いつもある、いつもの居場所」。まちのパブリックハウスを目指して2022年4月に誕生したホテルです。環境に優しいアメニティ選定、不要になった衣類回収や、まちのゴミ拾い活動など、環境とまちとのつながりを大切にしています。国内外でまちづくりにつながる事業の企画、設計/施工、施設運営を手がけるUDSが企画、設計、運営を手がけるUDS HOTELSの施設です。

所在地:〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-17-1

WEBサイト:<http://www.all-day-place.com/>

Instagram:https://instagram.com/alldayplace_shibuya

【UDS HOTELSについて】

豊かな地域性が織りなす各地の魅力に触れられ、「まちとつながる、ちょうどいい時間」を提供する旅の拠点を目指し、全国で13のホテルや旅館、リゾートを展開しています。(2026年8月現在)

事業性と社会性を実現するしくみ=「システム」で都市を豊かに楽しくすることを目指して、まちづくりにつながる事業の企画、設計/施工、施設運営を国内外で行うUDS(<https://uds-net.co.jp/>)が手がけています。

WEBサイト:<https://uds-hotels.com>

Instagram:https://instagram.com/uds_hotels_official/

note:<https://note.com/udshotels>

本件リリースのお問い合わせ先
UDS HOTELS 広報担当 hotelspr@uds-net.co.jp